



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社グルメ杵屋

コード番号 9850 URL <http://www.gourmet-kineya.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 椋本 充士

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長

(氏名) 森田 徹

TEL 06-6683-1222

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	19,383	7.1	442	475.0	442	397.6	415	809.8
27年3月期第2四半期	18,098	2.1	76	△23.5	88	△19.3	45	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 303百万円 (4.6%) 27年3月期第2四半期 289百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	18.41	—
27年3月期第2四半期	2.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	31,885	14,470	44.5	628.74
27年3月期	33,142	14,444	42.8	627.74

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 14,204百万円 27年3月期 14,184百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,538	4.8	857	449.1	805	399.1	754	28.3	33.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	22,610,359 株	27年3月期	22,610,359 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	18,445 株	27年3月期	14,070 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	22,594,257 株	27年3月期2Q	22,402,754 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は完了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料の3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日本銀行の財政金融政策の効果から雇用情勢の改善をはじめ緩やかな景気回復基調で推移しております。

外食産業を取り巻く環境は、依然として日常の食事は消費者の生活防衛意識の高まりによる節約志向が続く一方で、景気回復とともに人材の確保が課題となり、さらに顧客獲得に向けた企業間競争は激化しており厳しい経営環境に直面しています。

このような状況の中、当社グループは、第1四半期に引き続き既存店事業の全体的な売上の底上げ、並びにコストコントロールの強化を行いながら、不採算店舗の業態変更を推進致しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高193億83百万円（前年同期比12億84百万円増）、営業利益4億42百万円（前年同期比3億65百万円増）、経常利益4億42百万円（前年同期比3億53百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億15百万円（前年同期比3億70百万円増）となりました。

連結売上高	193億83百万円	（前年同四半期	180億98百万円）
連結営業利益	4億42百万円	（前年同四半期	76百万円）
連結経常利益	4億42百万円	（前年同四半期	88百万円）
親会社株主に帰属する四半期純利益	4億15百万円	（前年同四半期	45百万円）

セグメントの業績は次のとおりです。

(レストラン事業)

既存店の業績回復を柱に、業績不振店舗の改装・業態変更を推進いたしました。その結果、新規出店4店舗（前年同期10店舗）、退店6店舗（前年同期6店舗）を行い、当第2四半期連結会計期間末における店舗数は41都道府県に446店舗（3工場を含む。）となりました。改装は12店舗実施し、このうち7店舗の業態変更を行いました。既存店舗の売上が順調に推移し、コストコントロールを推進した事により増収増益となりました。

以上の結果、レストラン事業の売上高は144億15百万円（前年同期比5.5%増）、セグメント利益は6億82百万円（前年同期は3億12百万円の利益）となりました。

(機内食事業)

関西国際空港における入出国者数増加等により増収となりました。また原材料及び労務費等のコストコントロールが効果を及ぼし増収増益となりました。

以上の結果、機内食事業の売上高は24億5百万円（前年同期比24.6%増）、セグメント利益15百万円（前年同期は72百万円の損失）となりました。

(業務用冷凍食品製造事業)

りんくう工場の冷凍食品の製造受注が減少し減収となりました。原材料及び労務費等のコストコントロールを図りましたが効果が及ばず減収減益となりました。

以上の結果、業務用冷凍食品製造事業の売上高は5億84百万円（前年同期比5.3%減）、セグメント損失1億27百万円（前年同期は37百万円の損失）となりました。

(不動産賃貸事業)

大阪木津市場(株)の地方卸売市場の入居率はほぼ前期並みに推移しました。

以上の結果、不動産賃貸事業の売上高は3億28百万円（前年同期比1.2%減）、セグメント利益1億35百万円（前年同期は1億31百万円の利益）となりました。

(運輸事業)

水間鉄道(株)においては鉄道及びバス旅客数が若干増加したことにより増収となりました。また設備投資による償却費負担増により増収減益となりました。

以上の結果、運輸事業の売上高は2億43百万円（前年同期比3.0%増）、セグメント損失17百万円（前年同期は10百万円の損失）となりました。

(その他)

大阪木津市場(株)で展開しております水産物卸売事業は、魚介の卸売数量がほぼ前期並みに推移しました。

日本食糧卸(株)で展開しております米穀卸売事業は、製造受注が安定して増加したことにより増収となりました。また設備投資による償却費負担増により増収減益となりました。

以上の結果、その他の売上高は14億4百万円（前年同期比6.4%増）、セグメント利益11百万円（前年同期は20百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ12億56百万円減少して318億85百万円となりました。これは主に現金及び預金14億71百万円の減少、商品及び製品3億18百万円の増加及び投資有価証券2億40百万円の減少によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ12億82百万円減少して174億15百万円となりました。これは主に借入金8億59百万円及び未払消費税等2億54百万円の減少によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ25百万円増加して144億70百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益4億15百万円の計上、配当金の支払い2億71百万円及びその他有価証券評価差額金1億24百万円の減少によるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の42.8%から44.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月14日に発表いたしました連結業績予想の数値から変更をおこなっております。詳細は別途本日開示いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,043,055	5,571,203
預け金	934,929	829,489
売掛金	1,072,012	1,163,502
商品及び製品	141,883	460,674
原材料及び貯蔵品	175,895	206,880
短期貸付金	1,523	7,131
繰延税金資産	116,566	116,566
その他	398,646	402,577
貸倒引当金	△3,617	△3,330
流動資産合計	9,880,896	8,754,694
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	24,741,921	24,871,313
減価償却累計額	△18,289,920	△18,354,108
建物及び構築物(純額)	6,452,000	6,517,205
機械装置及び運搬具	2,252,256	2,386,809
減価償却累計額	△1,903,563	△1,938,556
機械装置及び運搬具(純額)	348,693	448,253
工具、器具及び備品	1,505,565	1,559,891
減価償却累計額	△1,231,392	△1,263,618
工具、器具及び備品(純額)	274,173	296,272
土地	8,123,620	8,123,620
建設仮勘定	5,900	53,437
有形固定資産合計	15,204,386	15,438,789
無形固定資産		
投資その他の資産	80,491	56,605
投資有価証券	1,235,376	995,201
長期貸付金	94,963	104,643
差入保証金	6,551,886	6,431,325
その他	119,273	123,617
貸倒引当金	△24,880	△18,931
投資その他の資産合計	7,976,619	7,635,856
固定資産合計	23,261,497	23,131,251
資産合計	33,142,394	31,885,946

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,112,689	1,143,930
短期借入金	300,000	450,000
1年内返済予定の長期借入金	2,773,568	2,800,366
未払金	212,121	186,036
未払費用	1,614,415	1,515,605
リース債務	34,505	34,629
1年内リース資産減損勘定	3,305	-
未払法人税等	239,581	204,682
未払消費税等	466,237	211,652
賞与引当金	77,432	97,093
資産除去債務	24,416	28,511
その他	171,088	193,343
流動負債合計	7,029,361	6,865,849
固定負債		
長期借入金	8,035,498	6,999,082
長期末払金	72,445	61,649
リース債務	108,879	91,533
繰延税金負債	1,545,195	1,516,194
資産除去債務	1,156,778	1,154,313
転貸損失引当金	24,750	23,250
退職給付に係る負債	152,587	146,024
その他	572,235	557,534
固定負債合計	11,668,369	10,549,581
負債合計	18,697,731	17,415,431
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,838,236	5,838,236
資本剰余金	6,767,578	6,767,578
利益剰余金	1,278,475	1,423,234
自己株式	△11,851	△16,125
株主資本合計	13,872,438	14,012,923
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	344,698	220,424
退職給付に係る調整累計額	△32,634	△29,003
その他の包括利益累計額合計	312,063	191,420
非支配株主持分	260,160	266,170
純資産合計	14,444,662	14,470,515
負債純資産合計	33,142,394	31,885,946

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	18,098,191	19,383,018
売上原価	10,948,997	11,667,985
売上総利益	7,149,194	7,715,033
販売費及び一般管理費	7,072,315	7,273,001
営業利益	76,878	442,031
営業外収益		
受取利息	3,660	3,867
受取配当金	6,234	11,888
投資有価証券売却益	10,381	—
仕入割引	6,443	5,303
賃貸料収入	58,993	38,722
その他	27,902	28,416
営業外収益合計	113,617	88,199
営業外費用		
支払利息	70,483	64,898
賃貸費用	27,536	20,405
その他	3,603	2,653
営業外費用合計	101,623	87,957
経常利益	88,872	442,273
特別利益		
固定資産売却益	71,012	1,425
投資有価証券売却益	—	161,854
国庫補助金等	15,000	—
その他	2,503	10,236
特別利益合計	88,515	173,517
特別損失		
固定資産除却損	17,290	44,946
減損損失	36,586	13,160
商品廃棄損	—	8,003
その他	—	768
特別損失合計	53,876	66,879
税金等調整前四半期純利益	123,511	548,911
法人税、住民税及び事業税	80,765	125,453
法人税等合計	80,765	125,453
四半期純利益	42,746	423,457
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,969	7,542
親会社株主に帰属する四半期純利益	45,715	415,914

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	42,746	423,457
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	243,427	△124,273
退職給付に係る調整額	3,599	3,996
その他の包括利益合計	247,026	△120,277
四半期包括利益	289,773	303,180
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	292,413	295,269
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,639	7,910

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	123,511	548,911
減価償却費	393,751	417,521
減損損失	36,586	13,160
長期前払費用償却額	5,662	9,624
のれん償却額	2,278	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	39,501	19,660
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△8,868	△6,236
転貸損失引当金の増減額 (△は減少)	△5,318	△1,500
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3,244	△2,566
受取利息及び受取配当金	△9,895	△15,756
支払利息	70,483	64,898
国庫補助金等	△15,000	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△10,381	△161,854
固定資産除却損	17,290	44,946
固定資産売却損益 (△は益)	△71,012	△1,425
売上債権の増減額 (△は増加)	137,426	13,949
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△248,241	△349,775
仕入債務の増減額 (△は減少)	21,510	31,241
未払消費税等の増減額 (△は減少)	174,787	△314,100
その他	△158,243	△28,157
小計	499,074	282,541
利息及び配当金の受取額	9,895	15,756
利息の支払額	△70,407	△65,411
法人税等の支払額	△116,623	△169,653
営業活動によるキャッシュ・フロー	321,938	63,232
投資活動によるキャッシュ・フロー		
補助金の受取額	15,000	—
有形固定資産の取得による支出	△681,484	△693,290
無形固定資産の取得による支出	△19,744	△6,656
長期前払費用の取得による支出	△23,857	△11,639
店舗撤去に伴う支出	△18,766	△18,269
有形固定資産の売却による収入	222,785	1,579
投資有価証券の取得による支出	—	△1,000
投資有価証券の売却による収入	13,036	249,735
出資金の回収による収入	—	252
貸付けによる支出	△370	△20,000
貸付金の回収による収入	9,199	4,712
差入保証金の差入による支出	△98,103	△27,912
差入保証金の回収による収入	87,221	140,383
投資活動によるキャッシュ・フロー	△495,082	△382,105

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	150,000	259,400
短期借入金の返済による支出	—	△109,400
長期借入れによる収入	1,050,000	380,000
長期借入金の返済による支出	△1,199,691	△1,389,618
配当金の支払額	△267,758	△269,966
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△10,257	△17,221
自己株式の取得による支出	△2,666	△4,274
その他	△1,898	△1,898
財務活動によるキャッシュ・フロー	△282,271	△1,152,979
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△455,415	△1,471,852
現金及び現金同等物の期首残高	6,182,596	7,043,055
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,727,181	5,571,203

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン 事業	機内食事業	業務用冷凍 食品製造事 業	不動産賃 貸事業	運輸事業	計				
売上高										
外部顧客に対する 売上高	13,659,795	1,931,036	617,810	332,938	236,284	16,777,865	1,320,325	18,098,191	-	18,098,191
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10	2,906	427,222	-	31,138	461,278	336,310	797,588	△797,588	-
計	13,659,805	1,933,943	1,045,033	332,938	267,423	17,239,144	1,656,635	18,895,780	△797,588	18,098,191
セグメント利益又は 損失(△)	312,143	△72,340	△37,480	131,050	△10,753	322,619	20,047	342,667	△265,788	76,878

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業及び米穀卸売事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△265,788千円は、主に各報告セグメントに配分していない
全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン事業」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間において、店舗資産の減損損失を
36,586千円計上しております。なお、減損損失は特別損失のため、セグメント利益には含まれておりませ
ん。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン 事業	機内食事業	業務用冷凍 食品製造事 業	不動産賃 貸事業	運輸事業	計				
売上高										
外部顧客に対する 売上高	14,415,571	2,405,767	584,981	328,898	243,304	17,978,523	1,404,494	19,383,018	-	19,383,018
セグメント間の内部 売上高又は振替高	81	6,424	237,440	-	31,111	275,057	363,342	638,399	△638,399	-
計	14,415,653	2,412,191	822,421	328,898	274,415	18,253,580	1,767,837	20,021,417	△638,399	19,383,018
セグメント利益又は 損失(△)	682,684	15,606	△127,620	135,472	△17,122	689,019	11,254	700,274	△258,242	442,031

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業及び米穀卸売事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△258,242千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン事業」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間において、店舗資産の減損損失を13,160千円計上しております。なお、減損損失は特別損失のため、セグメント利益には含まれておりません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。